

30日 木曜

I サムエル



30:16 彼はダビデを案内して行った。すると、なんと、アマレク人たちはその地いっぱい散って食べたり飲んだりし、お祭り騒ぎをしていた。彼らがペリシテ人の地やユダの地から奪った分捕り物が、とても多かったからである。

30:17 ダビデは、その夕暮れから次の夕方まで彼らを討った。らくだに乗って逃げた四百人の若者たちのほかは、一人も逃れることができなかった。

30:18 ダビデは、アマレクが奪い取ったものをすべて取り戻した。ダビデは、二人の妻も救い出した。

30:19 子どもも大人も、息子たちも娘たちも、分捕られた物も、彼らが奪われたものは、何一つ失われなかった。ダビデは、これらすべてを取り返した。

30:20 ダビデはまた、すべての羊と牛を奪った。兵たちは家畜の先に立って導き、「これはダビデの戦勝品だ」と言った。

30:21 ダビデは、疲れてダビデについて来ることができずにベソル川のほとりにとどまっていた二百人の者のところに来た。彼らは、ダビデと彼に従った者たちを迎えに出て来た。ダビデは、この人たちに近づいて彼らの安否を尋ねた。

30:22 ダビデと一緒にいった者たちのうち、意地の悪い、よこしまな者たちがみな、口々に言った。「彼らは一緒に行かなかったのだから、われわれが取り戻した分捕り物は、分けてやるわけにはいかない。ただ、それぞれ自分の妻と子どもを連れて行くがよい。」

30:23 ダビデは言った。「兄弟たちよ。

【主】が私たちに下さった物を、そのようにしてはならない。主が私たちを守り、私たちを襲った略奪隊を私たちの手に渡されたのだ。

30:24 だれが、このことについて、あなたがたの言うことを聞くだろうか。戦いに下って行った者への分け前も、荷物のそばにとどまっていた者への分け前も同じだ。ともに同じく分け合わなければならない。」

30:25 その日以来、ダビデはこれをイスラエルの掟とし、定めとした。今日もそうである。

30:26 ダビデはツィクラグに帰って来て、友人であるユダの長老たちに戦勝品の一部を送って言った。「これはあなたがたへの贈り物で、【主】の敵からの戦勝品の一部です。」

30:27 その送り先は、ベテルの人々、ラモテ・ネゲブの人々、ヤティルの人々、

30:28 アロエルの人々、シフモテの人々、エシュテモアの人々、

30:29 ラカルの人々、エラフメエル人の町々の人々、ケニ人の町々の人々、

30:30 ホルマの人々、ボル・アシャンの人々、アタクの人々、

30:31 ヘブロンの人々、すなわち、ダビデとその部下がさまよい歩いたすべての場所の人々であった。

ダビデは苦しい状況ゆえに信仰を守り通せずに、神をあなどる異邦人を頼りとしてしまいましたが、主の御心を求めるように変わり、主は哀れんで彼を助けました。主の前に大切なのは自分を変えることです。

目覚しい働きをした者がその利益を独占しよう

としましたが、ダビデはこれをいさめました。主の勝利は旧約時代も新約時代も主のものです。よく働いた者も主の恵と力によるのです。

祝福は主からのもの、栄光は主のものであることを知しましょう。へりくだった言動に終始し、主に感謝を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

